

研究成果の紹介

エダマメ「さとっこ姫」の播種時期別の収穫適期

兵庫県育成のエダマメ品種「さとっこ姫」は、5月20日から6月20日までの段階的な播種により、収穫期間を8月下旬から9月下旬まで拡大できる。収穫適期は各播種期とも莢の厚みが10mmに達した時期から約7日間である。

内容

中間型サイズの「さとっこ姫」を用いて、段階的な播種によるエダマメ収穫期間の拡大について検討した。2016年に5月10日から6月20日まで10日間隔で播種し（通常播種：6月10日）、慣行栽培した。播種期別に莢の長さが一定となった時期から7日ごとに計4回サンプリングし、株当たりの全莢重、莢の厚さ、子実の重量、硬さ（沸騰水中で5分加熱後の破断荷重）、シヨ糖含量を調査した。

株当たりの全莢重は、5月10日から6月10日までの播種期による有意な差はなく、6月20日播種でやや高かった。莢の厚みはS字曲線を描いて肥大し、5月20日以降の播種では、播種期別に段階的（約7日間隔）に莢の肥大が進んだ（図1）。一方、5月10日播種と5月20日播種との生育や品質の違いはみられなかった。子実重量は莢の厚みと同様の傾向を示した。莢色及び子実の硬さについても、5月20日以降の播種では、播種期別に段

階的（約7日間隔）に莢色が着色し、子実は硬くなった。エダマメの甘みに関係するシヨ糖含量（乾物重換算）は、収穫期間中の変化が小さく、収穫後半の含量が高い丹波黒エダマメとは異なる傾向を示した。

以上のことから、エダマメ「さとっこ姫」は、5月20日から6月20日までの段階的な播種により、収穫期間を8月下旬（5月20日播種の収穫始め）から9月下旬（6月20日播種の収穫終わり）まで拡大することが可能となった（図2）。品質から判断した収穫適期は、各播種期とも莢の厚みが10mmに達した時期から約7日間であった。

今後の方針

「さとっこ姫」の段階的な播種に加えて、「黒っこ姫」「丹波黒」とのリレー出荷を行うことで、エダマメ産地全体の収穫期間の拡大を図る。

廣田 智子（北部 農業・加工流通部）
（問い合わせ先 電話：079-674-1230）

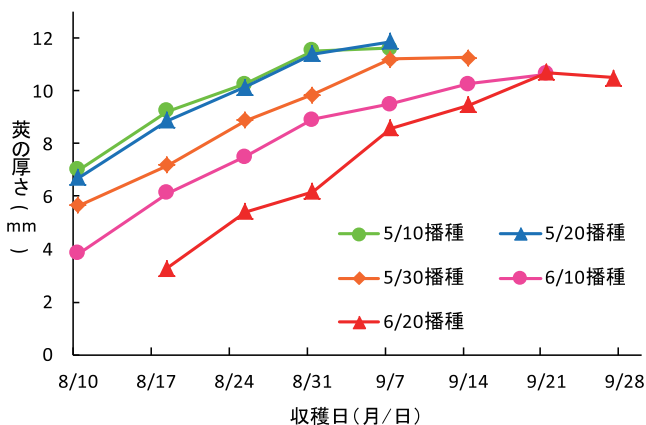


図1 播種期別のエダマメ時期の莢の厚さの変化 (2016年調査)

		収穫期			
		8月	9月		
		下旬	上旬	中旬	下旬
播種期	5月10日播種	←→			
	5月20日播種	←→			
	5月30日播種		←→		
	6月10日播種			←→	
	6月20日播種				←→

矢印⇔の範囲は品質から判断したエダマメとしての適期を示す。収穫適期は莢の厚みが10mmに達した時期から約7日間であった。

図2 「さとっこ姫」の播種期別のエダマメ収穫適期 (2016年調査)